

平成20年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校評価表

学校番号	81	長野県筑摩高等学校定時制課程夜間部
------	----	-------------------

1 目 標

夜間部教育目標	重点目標(中長期的目標)	総合評価				
(夜間部教育目標) 1. 働きながら学べるというシステムを最大限生かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望をもたせる。 2. 集団に適応できる自律的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3. 地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し豊かな人間性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して通学、学習できる環境の確立 生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備 学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上 	・新入生および転編入生ひとりひとりについての状況把握に問題を残した。本課程入学生に特有の個々の事情を生徒の実情をより総合的に掴み、理解することがすべての指導の原点であることを再認識しなければならない。 ・雇用情勢の激変の下、次年度は生活指導と学習活動のあり方について抜本的な見直しを迫られることもあり得る。				
	平成20年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	<ul style="list-style-type: none"> 進級および卒業率の引き上げ 進学および就職などの進路保障のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と学業の両立が達成できている生徒の一方困難をかかえる生徒に対し、よりいっそう理解と指導をはかる。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶという生活リズムを確立するため、個々の生徒の実態把握ときめ細かな指導体制を強化する。

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 二期制(分割認定)に関する課題の検討 工業科目(選択)設置に関する検討 学校設定科目の検討 教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業日数は確保できたか 単位修得者は増えたか 科目に生徒の実態や要望にかなっているか 生徒が積極的にとり組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は、期末試験後の出席率もひじょうに高かった。 2～4年次生については向上している。 アンケート等でよりいっそう要望をくみあげる必要がある。 目的をしっかりもった生徒はきわめて積極的である。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 研修を深めて、個々の生徒の全体像把握に努めながらそれぞれに適した指導のあり方をよりいっそう探る。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の充実 授業の再点検による充実・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が協力して指導したか 生徒が意欲的に取り組んだか 授業アンケートの実施と検討会等 	<ul style="list-style-type: none"> 科目ごとに様々な工夫をしているが、お互いの授業の様子等を話し合うことがいっそう必要である。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 後期からの「総合的な学習の時間」は相応の成果が認められる。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個人々の状況把握の強化、システム化 交通安全指導の実施 基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 個人カードの作成、更新 通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか 挨拶や上下履きの区別ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や上下履きの区別はひじょうに良くなった。 生徒の家庭環境や職場の変化をより的確に把握することが求められる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の対象生徒についていっそう理解を深め、適切な指導方法を探る。
教育活動	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の実施 進学、就職の情報提供 進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> 年次にあった希望調査をしたか 適切な情報提供ができたか 個別に面接・作文・小論文指導などの対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 授業と個別の進路指導との関連性をいっそう高めたい。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 早期の進路意識向上に努める。より生徒の理解が深まるようにしたい。
	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒別の履修登録指導 SHR、LHR活動の充実 保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 単位習得の実態に即し、個別に対応できたか クラス・学年ごとの計画を立案したか 保護者との連携を密にしたか 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡は常に行ったが、連携した指導には課題を残した。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会週間以外にも、個別の面談を日常化して、よりいっそういねいな指導に努める。
	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭発表展示の充実 諸行事運営方法の検討 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が取り組んだか 執行部、委員会が機能したか 日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動は充実してきたが、文化祭の取り組みは例年と同じ課題を残した。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 全日制が廃される次年度以降、夜間部としてどう文化祭のあり方、かかわり方があるか研究する。
学校運営	研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「多部制・単位制」の研究が深まったか 	<ul style="list-style-type: none"> 転編入生の単位の扱いについて検討を深めることができた。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 他部(パート)との意見交換の機会をより多く設ける。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の適正化 「学校運営支援システム」活用の検討 書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌の合理的な運営ができたか 合理的・効率的な活用法が実現できたか 文書、データ等を効率よく管理できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な連絡、協力態勢がとれている。 		○		<ul style="list-style-type: none"> データ管理のいっそうの効率化と活用を検討する。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、中学校、地域への学校公開 事業所・企業主との連携 学校評議員会との協力 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に公開でき、理解を深められたか 事業所訪問や広報活動ができたか 意見交換の場を設けられたか 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員に見学を要望しているが実現していない。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開、説明会は、ほぼ常時おこなわれている。そのことをもっとアピールしてゆく。